

市民の力の三人衆は住民目線・生活者起点で活動！

工藤日出夫

会派市民の力代表。北本市監査委員。建設経済常任委員会委員、桶川北本水道企業団議会議員、鴻巣行田北本環境資源組合議会議員。（東間5丁目サンマンション/5期目）



昨年4月の選挙では、一四輪クドウエンジン全開」と、市内を駆け巡り、皆さんからのご理解・ご支援で五期目の当選をさせていただきま



「命が守られるまち」、「安心医療のまち」、「子どもを育むまち」、「高齢者が安心して暮らるまち」、「若者の夢の実現を支援するまち」を政治活動の目標にしています。

た。あれから間もなく一年です。今元気がいっぱい、北本市のまちづくりに参加しています。さて、会派市民の力は、前期の日高議員との2人から、新人の桜井卓議員が加わり、3人で活動しています。私たちが会派市民の力は、これまで同様「住民目線」と「生活者起点」を理念に、住民福祉と教育、子ども子育て・若者女性を主役に、持続（SDGs）ある北本市の建設に向けて議会活動をしています。北本市は、少子高齢・人口減少が進んでいます。北本市の将来に多くの市民が心配されていると推察いたします。しかし、この傾向はすべての自治体が背負う、避けて通ることのできない課題です。それだけに、人口増加だけでない、一人ひとりの市民が、住み慣れたこの地で安心して、幸せに暮らしているまちづくりに取り組むことが重要です。私、工藤日出夫は、「人間尊重のまち」、「命が守られるまち」、「安心医療のまち」、「子どもを育むまち」、「高齢者が安心して暮らるまち」、「若者の夢の実現を支援するまち」を政治活動の目標にしています。

これまでの経験若し二人に伝えながら、ともに力を合わせ、三宮市政を支えつつも、議案には是は是、否は否と毅然と対応していきます。

日高英城

会派市民の力幹事（副代表）。健康福祉常任委員会委員、議会運営委員会副委員長、県央広域一部事務組合議会副議長、北本市土地開発公社理事。（朝日2丁目ワコーレ/2期目）



二期目を迎え、決意も新たに「市民の声を市政へ」伝えるために、皆さまの代弁者となり、活動して参ります。今後とも倍旧のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

皆さまから温かいご支援をいただき、二期目を迎えさせて頂きました。一期目は「市民の声を市政へ」をスローガンに工藤議員の下、常に住民目線で考え活動してきました。活動の成果（？）と考えていますが、ワコーレや朝日地域だけではなく、京王団地やマリオンを始め他地域の方々よりご相談やご提案をいただく機会が多くなりました。一般質問等を取り上げる案件が増え多岐にわたるようになりましたが持ち時間内に解決できず、反省しているところです。去年の12月議会では、以前より多くの議員が取り上げてきた「石戸下踏切」の拡幅を質し、今年度予算にて踏切西側の市道拡幅が計上され、一歩前進したと考えています。また、同議会で「北本市部設置条例の一部改正」が承認され、4月から「市長公室」が設置されます。我々「市民の力」は、組織機能としての位置づけが不十分、と指摘し反対としたことから、3月議会で、市長公室の設置について再び質すことを予定していました。しかしながら、3月議会での一般質問がコロナ問題で取り下げたことから、企業経営の豊かな市民と共に市長に直接面談を申し入れ、職員も交え組織機能について意見交換をし、しっかりとした組織運営を求めました。三宮市長には理解頂いたと思いますが、新年度の組織運営を期待しつつも注視していきます。

桜井卓

会派市民の力幹事（会計）。総務文教常任委員会委員、広報広聴委員会副委員長、北本地区衛生組合議会議員、鴻巣行田北本環境資源組合議会議員。（高尾1丁目/1期目）



皆さまのご支援で初当選させていただきました。温かい叱咤激励を頂戴しながら一年間活動をしてまいりました。市議会ではこれまで3回の一般質問を行い、学童保育における保育の質の確保、高齢者等の交通弱者の移動手段の確保、台風十九号への対応を踏まえた災害対策の見直しなどを取り上げました。また、昨年九月の定例会では会派を代表して決算に関する総括質疑を行いました。今年三月の定例会は一般質問が取り下げとなりましたが、小中学校を臨時休校とした経緯など新型コロナウイルス対策に関する緊急質問を行いました。

また、鴻巣行田北本環境資源組合議会として、組合の定例会でも毎回一般質問を行いました。昨年十一月に新たに設置された新施設建設等特別委員会の委員にも選出されましたが、その矢先に正副管理者（三市の市長）により新ごみ処理施設の整備が白紙解消とすることが決定されてしまいました。市長に対しては、白紙解消となった経緯や今後の方向性について、市民の皆さまに丁寧に説明する機会を設けるよう議会決議しました。今後は、環境負荷やコストをできるだけ抑制できる施設の整備に向けて、会派としても重点課題として取り組んでまいります。議会以外では、会派や個人で議会報告会を開催したほか、不定期にウェルビーイング通信を発行し、北本駅や本町・西高尾を中心に配布しています（通算第10号まで）。私の活動は、公式ホームページで詳しくお伝えしています。http://sakuraisuguru.jp/



私たちは、北本市議会会派「市民の力」です。工藤日出夫、日高英城、桜井卓の3人です。会派「市民の力」機関紙を発行しましたのでご覧ください。

3月定例議会コロナウイルス対策で会期延長し27日全議案議決し閉会

令和2年度

予算可決

三宮市長初予算編成！選挙公約への目ぼしい対応見えずオンリーワンのまちづくりの実現に懸念。会派としてオリ・パラ事前キャンプ誘致、南部整備基金当初予算対応等に課題を呈し賛成しました！！

北本市議会令和2年第1回定例会は、2月25日開会3月19日閉会で始まりましたが、「コロナウイルス感染防止」で27日まで会期を延長し、3月3日から5日までを休会。そのため、日程が窮屈になり一般質問の通告者18名が取り下げました。また、休会前の2日の議案質疑の後、コロナウイルス対策への緊急質問を行いわが会派から日高、桜井の両議員が質問しました。

今定例会について報告します。

●令和2年度予算について

一般会計は、204億3,900万円（前年比2億1,700万円増）。5特別会計予算合計132億9,317万円、企業会計（下水道）予算18億3,465万円で総計355億6,682万円（右上表：前年比4億6,272万円増）です。

歳入の主なものは、自己財源の主力である市税86億5,200万円（前年比△6,431万円）。地方交付税22億1,600万円（前年比1億3,900万円）、地方消費税交付金13億9,100万円（前年比2億9,400万円）、国庫金31億3,539万円（前年比1億9,900万円）、市債13億5,900万円（前年比△1億2,680万円）などです。

しかし、消費増税と今春発生した「新型コロナウイルス感染拡大」で、経済が低迷しています。経済状況によって市税等に影響が出ることが懸念されます。

手堅い予算でインパクト・メッセージ性不足否めず…

歳出を見ると、三宮市長の選挙公約の目ぼしい新規事業は見当たらず、継続事業の拡充の手堅い印象です。市長が選挙で訴えた「ピンチをチャンス」には、継続でシティプロモーション事業（1,100万円）の拡充、オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致事業（5千万円：自己財源4千万円）、ごみ施設基金（1億円）と賛成しました。

令和2年度一般会計及び特別会計総括表

区 分		令和2年度	令和元年度	比 較	増減率
一 般 会 計		20,439,000	20,222,000	217,000	1.1
特別 会計	後期高齢者医療特別会計	962,000	874,000	88,000	10.1
	久保特定土地区画整理事業特別会計	411,700	658,200	△246,500	△37.5
	国民健康保険特別会計	6,665,800	6,576,300	89,500	1.4
	介護保険特別会計	5,253,200	4,929,800	323,400	6.6
	埼玉県央広域公平委員会特別会計	468	523	△55	△10.5
小 計		13,293,168	13,038,823	254,345	2.0
企業 会計	公 共 下 水 道 事 業 会 計	1,834,652	1,843,281	△8,629	△0.5
総 計		35,566,820	35,104,104	462,716	1.3

めていと答弁。どう共存させるのか。解答を出すのは難しそうです。方針を決め、先ずは地権者の意向確認ではと提案しました。

●栄小学校廃校へ

オリパラは、アルジェリアのパラリンピック選手・役員の宿泊費に一人7千円を上限に補助、成田⇒北本、北本⇒選手村の移動交通費等の経費です。障がいスポーツの普及と国際交流そして青少年に夢を与えるのが誘致目的と答弁されました。

また、市長公約のデマンドバスのエリア拡大については、鴻巣市と桶川市の病院への拡大が予算化されました。

市立栄小学校の廃校に関する条例が提出されました。総務文教常任委員会では、子どもたちの意見を聴く手続きが不十分なことから「否決すべきもの」としましたが、本会議で可決されました。

令和3年3月末をもって廃校されます。栄小学校の児童は、廃校後は石戸小学校へ通学することになります。

●新型コロナウイルス対策への緊急質問

桜井議員は、学校を休校する一方で学童保育室を開室することとした経緯について質問しました。教育長は「子どもたちに決して感染を広げない」という市長の思いから休校を決断したと答弁しましたが、大規模化した学童で密集した状態で保育を行えば感染リスクが高まります。学校・学童双方の利用状況を見ながら感染リスクを最も抑えられる方法を検討するようお願いしました。また、日高議員は、事業者への経済的支援や個人への所得補償、市内介護施設等高齢者や障害者への周知や感染対策等について質問しました。



●市長の重点公約先送りに憂慮

新駅含む南部地域整備基金に当初予算に5千万円（昨年度当初は500万円）計上しました。新駅及び南部地域開発事業計画のない中で、貴重な財源を投資的事業に充てないで、固定化することに問題提起しました。決算後の剰余金で十分対応できます。

オリパラ4千万円、基金5千万円の投資財源を、三宮市長公約の「子ども若者女性1億円プロジェクト」や「教育改革市民会議の設置」、「駅東口駅前広場屋根設置」の事業化に投資すれば、“1億円プロジェクト”は若者・女性へ。“教育改革市民会議設置”は子育て世代へ、“駅前整備”は通勤者にインパクトとメッセージを発信できたはず。公約先送りを憂慮しています。

●久保区画整理事業の見直しは

久保区画整理事業は、事業開始から20年が過ぎ、進捗率は43%です。現在、デーノタメ遺跡保存との共存を目指し見直しを始

●ごみ処理新施設白紙について

12月12日の正副管理者会議で、新施設建設協議を白紙とすることを受け、鴻巣行田北本環境資源組合の解散（北本市が離脱）の議決が3月2日の本会議で行われ、正式に白紙になりました。今後は、当分吉見の焼却施設でこれまで同様に処分されます。新施設の建設は、あらゆる可能性が検討されます。

市民の力

会派市民の力機関紙第35号（2020.03）

発行者/会派 市民の力 代表 工藤日出夫
事務所/北本市本町1-111議会事務局議員控室
電話/048-542-3725/090-4610-0226（代表：工藤）



工藤日出夫



日高英城



桜井卓